

【JH2A／MRI／千代田化工】

水素社会実装と事業化の最前線

講
師

一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会 事務局長補佐

兼務) トヨタ自動車株式会社 山下 健 氏

株式会社三菱総合研究所 エネルギー・サステナビリティ事業部門 GX本部

脱炭素イノベーショングループ 主席研究員 圓井 道也 氏

千代田化工建設株式会社 事業開発本部 フェロー 岡田 佳巳 氏

日 時 2026 年 9 月 7 日 (月) 午後 1 時～4 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

I. 水素社会実現に向けた JH2A の取組みについて(水素大動脈活動他)

山下 健 氏 【13:00～13:40】

一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会(JH2A)は、サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として、社会実装プロジェクトの実現を通じ、早期に水素社会を構築する為に 2022 年 4 月に設立された社団法人です。

当団体として本年 5 月に高市総理に政策提言を発信し、水素大動脈活動を軸として実装に向けた活動を加速させています。今回の講演では、JH2A としての水素大動脈活動の取組みと今後の計画についてご紹介させていただきます。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. JH2A のご紹介 | 3. 水素大動脈を軸とした今後の活動ご紹介 |
| 2. 26 年 5 月に実施した政策提言の内容ご紹介 | 4. 質疑応答／名刺交換 |

II. 水素・アンモニアの社会実装に関わる動向・今後の展望

圓井 道也 氏 【13:50～14:50】

近年、水素基本戦略改訂、水素社会推進法制定を経て、水素アンモニアの社会実装に向けた正念場を迎えている。本講演では、第 7 次エネルギー基本計画以降の政策・プロジェクト開発の状況を概観し、今後の社会実装に向けた論点および必要な取組について提言する。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 水素・GX関連政策の動向 | 4. 当社取組みのご紹介 |
| 2. プロジェクト開発の動向 | 5. 質疑応答／名刺交換 |
| 3. 今後の展開に向けた論点 | |

III. 水素サプライチェーン構築に向けた取組み

岡田 佳巳 氏 【15:00～16:00】

2002 年以来、技術開発を継続して商業化段階に移行している当社の LOHC-MCH 法システムについて、特長、性能、他法とのコスト比較、実用化に向けた取組みについて紹介するとともに、将来に大幅なコスト削減を可能とする技術開発シナリオについて紹介する。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 水素エネルギーキャリア技術の開発動向 | 4. 実用化に向けた取組み |
| 2. LOHC-MCH 法の概要と特長 | 5. 水素供給コスト半減に向けた技術開発シナリオ |
| 3. 各法のコスト比較 | 6. 質疑応答／名刺交換 |

PROFILE 山下 健(やました けん)氏

1997 年 東北大学 法学部 卒。1997 年 4 月 トヨタ自動車株式会社 入社。7 月 第一ボデー部品調達部 配属。2008 年 1 月 Toyota Motor Europe(ベルギー)駐在。2012 年 1 月 資材設備調達部 グループ長。2018 年 1 月 調達企画部 企画室 室長。2020 年 1 月 プライムライフテクノロジーズ(株) 出向 サービスデベロップメント室 室長。2023 年 1 月 トヨタ自動車株式会社 先進スペースモビリティ開発部 部長 兼 月面探査車開発プロジェクト プロジェクト長。2026 年 1 月 一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会 出向 事務局長補佐 兼務) トヨタ自動車株式会社。

PROFILE 圓井 道也(まるい みちや)氏

2005 年 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻修了。同年 三菱総合研究所入社。環境・エネルギー分野における政策・技術動向に関する調査分析業務に従事。長期エネルギーシナリオ分析、地域分散型エネルギー分野の業務を経て、現在は水素・脱炭素燃料分野を中心とした政策立案・事業戦略検討を実施。

PROFILE 岡田 佳巳(おかだ よしみ)氏

1984 年 横浜国立大学工学部化学工学科卒業。1986 年 横浜国立大学大学院エネルギー材料専攻修了。同年 千代田化工建設に入社、研究所に配属、各種プロセス開発・触媒開発に従事。2002 年 LOHC-MCH 法脱水素触媒の開発に着手。2005 年 学位取得、博士(工学)。2010 年 技術開発部 技師長。2013 年 LOHC-MCH 法技術実証担当。2020 年 上席技師長、2022 年より現職。横浜国立大学先端科学研究院 客員教授、水素エネルギー協会(HESS) 副会長。

- 受講料 各受講方法 1 名につき 27,500 円(税込)
※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金 11,000 円(税込)で承ります。
- お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送り致します。
お申込み後、3 営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
(セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参下さい)
※お客様の都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
- お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込をお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい。

■ライブ配信について

- <1>Zoom にてライブ配信致します。
- <2>お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までに お送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について

- <1>開催日より3~5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
- <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。
- <3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

9月7日(月)

「水素社会実装と事業化の最前線」

申込日 月 日

貴社名

所在地

〒

○印をお付けください (ご自宅・お勤め先)

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ□をお入れ下さい。)

☐ 会場受講

☐ ライブ配信

☐ アーカイブ配信

フリガナ
氏名

所属部署・役職

TEL

() -

FAX

() -

E-mail

ブロック体でのご記入をお願いいたします。

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄

詳細・お申込はこちら↓

■主催 公益財団法人 原総合知的通信システム基金

■事務局(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26421-E

